

NO. 61

September.2025



Sagami Women's University

後援会会報



Supporters Bulletin



相模女子大学 後援会
相模女子大学短期大学部

発行日／2025年9月25日 発行所／相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者／後援会事務局 住所／〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話／042-747-9067

目次

後援会会長からのご挨拶、2025年度役員選出	1	2025年度収支予算書、2025年度事業計画	5
2025年度「教育懇談会」開催報告	2	大学だより	7
定期総会（書面審議）開催報告、2024年度事業報告	3	教員からのご挨拶（学長/学科長・研究科長）、新任教員紹介、相生祭イベント実施について、大学近況報告、就職状況報告、2025年度「オンライン報告会（就職編）」開催のお知らせ、2024年度進路決定状況	
2024年度収支決算書	4		

後援会会長からのご挨拶

2025年度後援会会長 大河原 裕代

会員の皆様には、いつも後援会活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度より相模女子大学・相模女子大学短期大学部の後援会会長を務めます大河原裕代です。どうぞよろしくお願いいたします。

本学は今年、創立125周年という大きな節目を迎えました。学生の皆さんが自分らしく学び、自信を育み、人生の意味や価値を見出していけるような学びの場であることを願っています。私たち後援会は、

保証人の皆様と手を取り合い、また地域の皆様ともつながりながら、心からの応援と支えを届けてまいります。今後とも皆様の温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



… 2025年度役員選出 …

会長：大河原 裕代 副会長：齊藤 千鶴

常任理事（総務部・事業部・会計部担当）：増田 理香子、千葉 治江

理事：川上 智裕、工藤 清美、渡邊 晴代、近藤 晃一、菊地 知也、菊池 育朗、小泉 彩子、三島 裕美

監事：松井 已知子、田崎 朋子

役員の任期は、2025年度定期総会終了後から2026年度定期総会終了時まで。

2025年度「教育懇談会」開催報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育に関する取り組みを会員の皆様に知っていただくための懇談会です。対面での懇談会の実施と、教育内容に関する報告動画をオンデマンド配信しております。

学科毎の懇談会 及び 教育個別面談

対面

2025年6月14日（土）相模女子大学7号館及び11号館にて開催し、119名の会員の皆様にご参加いただきました。

プログラム

①学科毎の懇談会

学科毎の教室で、各学科における授業支援等について、学科長が説明を行いました。
※管理栄養学科では、管理栄養士の国家試験に関する説明も行いました。

②教育個別面談

個別ブースにおいて、主にクラス担任の教員と学修状況等に関する面談を行いました。



学科毎の懇談会

参加者の声

【①学科毎の懇談会】

- 「卒業された方々が幅広くさまざまな分野で活躍されていることを知り、色々なことが学べる大学とあらためて感じました。就活する際何か資格を取得しておいた方が良いのではと思っていたのですが、就活ではひととなりを見るもので資格は必要なものを働いてからでも取得できると聞きなるほどと思いました。」
- 「学科長殿のお話がとてもあたたかく、面白かったです。とても人間味に溢れていて親しみを感じました。」
- 「現在の授業の内容が学年毎に深まり卒業、進路に向けて準備されている内容であることが理解できました。また、マナバを使い日常の授業の振り返りができたり、資格を目指したい場合など具体例もあり分かりやすかったです。」

【②教育個別面談】

- 「個別にご相談させていただいたことや、しっかりと個人としてご指導をいただいていることなど、非常に参考になりましたし、貴学のサポート体制にとっても安心いたしました。」
- 「娘の状況の理解や今後の家庭での方針が明確になりました。」

オンライン報告会（教育編）～輝くサガジョ生に会いたい!!～

オンライン

相模女子大学・相模女子大学短期大学部の教育内容に関する報告動画を登録者限定の専用ページにて配信中です。

動画配信期間

2025年6月30日（月）～2026年6月予定
動画をまだご覧いただいていない会員の皆様、また、学生の皆様もぜひご視聴ください。

動画視聴方法

郵送にてご案内しております「開催のご案内」に記載のURLより「オンライン報告会」のトップページを表示し、視聴者情報登録を行った上でご視聴ください。
URLがご不明の方は後援会事務局までお問い合わせください。

後援会事務局 連絡先 042-747-9067
Mail: kouenkai@mail2.sagami-wu.ac.jp
開室時間 10:00～18:00（月・水・金）

配信内容

- (1) 相模女子大学・相模女子大学短期大学部の現況について
- (2) 本学の社会貢献活動について
- (3) 学生報告 復興支援学生ボランティア委員会
- (4) 学生報告 学生有志企画 Hammin Spring Fashion Show



「相模女子大学・相模女子大学短期大学部の現況について」の撮影の様子

定期総会（書面審議）開催報告

今年度の定期総会について、書面審議にご協力いただき誠にありがとうございました。

2025年度定期総会議決結果

2025年5月16日(金)～6月8日(日)の期間に、オンライン表決で回答をいただきました結果について、次のとおり報告します。

各議案に対するオンライン表決結果

	議案	賛成	反対
第1議案	2024年度 事業報告の件	261	0
第2議案	2024年度 収支決算報告及び 監査報告の件	261	0
第3議案	2025年度 役員選出(案)の件	262	0
第4議案	2025年度 事業計画(案)の件	262	0
第5議案	2025年度 収支予算(案)の件	258	1
第6議案	2025年度 後援会会議・行事日程(案)の件	262	0

※全ての議案の「賛成」には「委任状提出分(195件)」を含んでいます。

ご意見等について

多くの皆様よりご意見を頂戴し、誠にありがとうございました。大学・短期大学部に対するご意見等につきましては、大学・短期大学部に報告いたします。後援会の事業・予算に対するご意見等につきましては、今後の運営に活かして参りたいと存じます。今後ともご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2024年度 事業報告

会議等の開催

定期総会（書面審議・電子表決）

2024年5月17日(金)～6月9日(日)の期間に後援会ホームページ上で総会資料を公開し、グーグルフォームにて電子表決を行った。

役員会等

- 2023年度会計監査 2024年4月20日(土)
夢をかなえるセンターEnglishroom
- 2023年度第4回常任理事会・理事会 2024年4月20日(土)
夢をかなえるセンター4階 ガーデンホール
- 2024年度第1回常任理事会 2024年7月13日(土)
茜館(催事場)
- 2024年度第1回理事会 2024年8月2日(金)～2024年8月8日(木)
書面形式にて開催
- 2024年度第2回常任理事会・理事会 2024年9月21日(土)
マーガレット本館会議室1・2
- 2024年度第1回会計監査 2024年11月13日(水)
マーガレット本館会議室4
- 2024年度第3回常任理事会・理事会 2025年2月8日(土)
マーガレット本館会議室1・2
- 2024年度第2回会計監査 2025年4月19日(土)
マーガレット本館 会議室4
- 2024年度第4回常任理事会・理事会 2025年4月19日(土)
マーガレット本館 会議室1・2

教育懇談会

開催日:2024年6月15日(土)
場 所:7号館及び11号館 各教室

オンライン報告会(教育編)～輝くサガジョ生に会いたい!!～

動画配信期間 2024年6月28日(金)～2025年6月30日(月)

オンライン報告会(就職編)～昔とは違います!今どきの就職活動～

動画配信期間 2024年11月29日(金)～2025年11月予定

相生祭「後援会活動紹介コーナー」

開催日:2024年11月3日(日・祝)、4日(月・振休)
場 所:7号館 1階ラウンジ

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

- 教育研究活動の充実を図る。
後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入した。また、学外から電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を継続した。

- 学生の福利厚生の充実を図る。
 - ①学生のクラス会開催について、162件のクラスに経費の一部を助成した。
 - ②卒業生記念品として、大学名(英字)の入った化粧筆(熊野筆)を贈呈した。
 - ③卒業記念パーティーの経費を助成した。
- 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
 - ①クラブ・委員会活動に必要な用品の購入経費の一部を助成した。アイドルダンスクラブ、弓道部、朗読クラブ、マンドリンクラブ、ダンスクラブEASTER (計5団体)
- 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
課外活動の分野で顕著な活躍をした個人1名と団体7件が課外活動奨励賞を受けたことに対して、後援会より副賞を授与した。
- 学生の就職活動を支援する。
就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成した。低学年向けキャリアデザインガイダンス、自分の特性・ベースに合わせた就職活動の進め方ガイダンス、特例子会社紹介セミナー、就活冬メイク講座、就職特訓講座【基礎編】【実践編】、求人票の見方講座、社会人準備講座、一般常識対策講座 等

学習支援助成費

学習支援に関する以下の経費の一部を助成した。
管理栄養学科リメティアル授業 外部講師謝礼
ラーニングコモンズ移設に伴う備品購入

地域連携助成費

大学が取り組んでいる地域連携活動に自主的に参加している学生(個人・団体)に対し、活動に係る経費の一部を助成した。
もとみやSMILEプロジェクト(福島県本宮市)、田植え体験・稲刈り体験(三重県熊野市)、ノジマステラ神奈川相模原試合運営ボランティア(神奈川県相模原市)、訪問活動(福岡県糸島市)、訪問活動(岩手県大船渡市)、訪問活動(新潟県佐渡市)、訪問活動(群馬県富岡市)、能合宿(新潟県佐渡市)、梅酒「翠想」ラベル貼り(神奈川県相模原市)、日光マウンテンランニングボランティア(栃木県日光市)、復興支援ボランティア委員会 FMさがみラジオ出演(相模原市)、福島県と安達地方の観光物産展における販売補助(東京都台東区浅草寺)、海外訪問活動(タイ チェンマイ)

刊行物について

2024年9月に会報59号、2025年3月に会報60号を刊行し、後援会ホームページに掲載した。

災害対策助成について

2024年度分の「非常用防災セット」を650セット購入した。

弔慰

会員のご不幸は大学6名。会則に則り弔意を表した。

2024年度収支決算書

2024年4月1日から
2025年3月31日まで

収入決算額 45,223,333円
支出決算額 31,275,698円
13,947,635円 (次年度へ繰越)

事務費

主に総会、各種懇談会等の運営費用となります。
事務費の多くは配付資料の印刷費、懇談会の案内を発送する際の通信費に充てられています。

就職対策 助成費

学生の就職活動を支援するため、各種講座・試験の受講費補助や、講師謝礼、就職関連図書の購入等を行っています。

教育懇談会経費・ 就職懇談会経費

昨年度に引き続き、オンライン報告会(教育編)(就職編)の動画配信を行いました。

学習支援助成費

ラーニングコモンズ移設に伴い、学生の学習環境整備のため、什器等の備品を購入しました。

災害対策助成費

地震等の災害時に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災グッズ」を650セット購入しました。

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.会 費	32,310,000	31,330,000	980,000
2.寄 附 金	0	0	0
3.雑 収 入	89	6,870	△ 6,781
4.前年度繰越金	13,886,463	13,886,463	0
合 計	46,196,552	45,223,333	973,219

※本年度会費 大 学 3,026名×10,000円 = 30,260,000円
短期大学部 107名×10,000円 = 1,070,000円

【支出の部】

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.事 務 費	4,502,630	4,061,368	441,262
(1) 印刷製本費	100,000	54,013	45,987
(2) 消耗品費	30,000	5,683	24,317
(3) 通信費	950,630	889,672	60,958
(4) 弔 慰 費	400,000	196,300	203,700
(5) 旅費交通費	150,000	98,700	51,300
(6) 渉 外 費	20,000	0	20,000
(7) 雑 費	10,000	0	10,000
(8) 業 務 費	70,000	45,000	25,000
(9) 業務委託費	2,772,000	2,772,000	0
2.事 業 費	25,510,564	19,803,021	5,707,543
(1) 学生関係費	18,672,000	13,161,167	5,510,833
① 課外活動助成費	2,620,000	985,042	1,634,958
② 福利厚生助成費	5,800,000	4,727,885	1,072,115
③ 学生指導助成費	10,000	0	10,000
④ 就職対策助成費	10,242,000	7,448,240	2,793,760
(2) 行 事 費	2,700,000	2,649,128	50,872
① 大学祭等助成費	800,000	800,000	0
② 卒業記念パーティ助成費	1,900,000	1,849,128	50,872
(3) 文 化 費	4,138,564	3,992,726	145,838
① 会 報 発 行 費	563,000	539,220	23,780
② 講演会等経費	20,000	14,820	5,180
③ 教育懇談会経費	654,500	537,900	116,600
④ 就職懇談会経費	1,286,200	1,286,200	0
⑤ 図書購入助成費	1,614,864	1,614,586	278
3.会 議 費	110,000	14,300	95,700
(1) 総 会 費	0	0	0
(2) 役 員 会 費	100,000	12,000	88,000
(3) 部 会 費	10,000	2,300	7,700
4.学 習 支 援 助 成 費	2,251,500	1,902,630	348,870
5.災 害 対 策 助 成 費	1,777,800	1,356,384	421,416
6.地 域 連 携 助 成 費	5,000,000	4,084,782	915,218
7.国 際 教 育 助 成 費	1,000,000	0	1,000,000
8.予 備 費	6,044,058	53,213	5,990,845
合 計	46,196,552	31,275,698	14,920,854

監査報告書

私たちは、2024年度後援会収支決算書を監査の結果、その適正であることを認めます。

監 事 高野 貴子 ㊞ 監 事 松井 已知子 ㊞

監査実施日 2025年4月19日

相模女子大学
相模女子大学短期大学部 後援会

2025年度収支予算書

2025年4月1日から
2026年3月31日まで

収入予算額 43,214,505円
支出予算額 43,214,505円

【収入の部】 (単位：円)

科 目	2025年度予算額 (A)	2024年度予算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.会 費	29,260,000	32,310,000	△ 3,050,000
2.寄 附 金	0	0	0
3.雑 収 入	6,870	89	6,781
4.前年度繰越金	13,947,635	13,886,463	61,172
合 計	43,214,505	46,196,552	△ 2,982,047

※2025年度会費 大学・短大 2,926名×10,000円 = 29,260,000円

【支出の部】

科 目	2025年度予算額 (A)	2024年度予算額 (B)	比較増減(△)(A-B)
1.事 務 費	4,489,540	4,502,630	△ 13,090
(1) 印刷製本費	100,000	100,000	0
(2) 消耗品費	30,000	30,000	0
(3) 通信費	937,540	950,630	△ 13,090
(4) 弔慰費	400,000	400,000	0
(5) 旅費交通費	150,000	150,000	0
(6) 渉外費	20,000	20,000	0
(7) 雑費	10,000	10,000	0
(8) 業務費	70,000	70,000	0
(9) 業務委託費	2,772,000	2,772,000	0
2.事業費	25,023,964	25,510,564	△ 486,600
(1) 学生関係費	18,472,000	18,672,000	△ 200,000
① 課外活動助成費	2,620,000	2,620,000	0
② 福利厚生助成費	5,600,000	5,800,000	△ 200,000
③ 学生指導助成費	10,000	10,000	0
④ 就職対策助成費	10,242,000	10,242,000	0
(2) 行事費	2,500,000	2,700,000	△ 200,000
① 大学祭等助成費	800,000	800,000	0
② 卒業記念パーティ助成費	1,700,000	1,900,000	△ 200,000
(3) 文化費	4,051,964	4,138,564	△ 86,600
① 会報発行費	563,000	563,000	0
② 講演会等経費	20,000	20,000	0
③ 教育懇談会経費	537,900	654,500	△ 116,600
④ 就職懇談会経費	1,316,200	1,286,200	30,000
⑤ 図書購入助成費	1,614,864	1,614,864	0
3.会議費	110,000	110,000	0
(1) 総会費	0	0	0
(2) 役員会費	100,000	100,000	0
(3) 部会費	10,000	10,000	0
4.学習支援助成費	640,000	2,251,500	△ 1,611,500
5.災害対策助成費	1,501,500	1,777,800	△ 276,300
6.地域連携助成費	6,000,000	5,000,000	1,000,000
7.国際教育助成費	0	1,000,000	△ 1,000,000
8.予備費	5,449,501	6,044,058	△ 594,557
合 計	43,214,505	46,196,552	△ 2,982,047

★1 通信費

オンライン報告会の発送数に基づき減額となりました。

★2 福利厚生助成費

2025年度の卒業記念品発注予定数に基づき減額となりました。

★3 卒業記念パーティー助成費

2025年度の発注予定数に基づき減額となりました。

★4 教育懇談会経費

昨年度同様、対面とオンラインの併用で開催することに伴い、動画撮影費等の経費を計上しました。また、動画編集本数変更等により減額となりました。

★5 就職懇談会経費

昨年度同様、オンラインで開催することに伴い、講師謝礼および動画撮影費等を計上しました。

★6 学習支援助成費

学修・生活支援課による支援講座の実施に伴う助成費のみを計上し、2025年度に学修環境の整備について要望があった場合は、適宜検討し、予備費にて対応します。

★7 災害対策助成費

防災セットの価格改定はありましたが、発注数が減少することから減額となりました。

★8 地域連携助成費

2025年度は更に学生の活動の機会が拡がることを想定し、国際教育助成費の減額分を充当しました。

★9 国際教育助成費

2025年度はキャンパス留学が実施されないことから減額となりました。

★10 予備費

学生への支援経費とし、状況に応じた柔軟な対応のための経費と位置づけ執行します。

2025年度事業計画

後援会は、以下の通り、引き続き大学の教育研究活動、学生の福利厚生、課外活動等を最大限に支援する。

会議等

- (1) 常任理事会及び理事会を必要に応じて開催し、重要事項を審議する。
- (2) 定期総会を1回開催する。／書面形式・電子表決での開催
- (3) 教育懇談会を開催する。／6月
対面形式の懇談会及び個別面談等
- (4) オンライン報告会(教育編)を開催する。／6月
オンデマンド配信
- (5) 相生祭に参加する。／11月2日(日)、3日(月・祝)
- (6) オンライン報告会(就職編)を開催する。／11月
オンデマンド配信
- (7) その他

相模女子大学・ 相模女子大学短期大学部に対する援助

- (1) 教育研究活動の充実を図る。
- (2) 学生の福利厚生の充実を図る。
- (3) 学生の課外活動の充実と活性化を図る。
- (4) 学生の課外活動における顕著な活動を顕彰する。
- (5) 相生祭等、学生の自主的活動を援助する。
- (6) 学生の就職活動を支援する。
- (7) 学生の地域連携活動を援助する。
- (8) その他

会員への情報発信

- (1) 会報(年2回 9月・3月)
後援会ホームページにPDFを掲載する。
- (2) 後援会ホームページの運用／後援会の新着情報・インフォメーションの発信、後援会から援助した学生活動等の紹介等

弔慰

学生本人、学生の父母または保証人の死亡に対して弔慰金を支給する。

大学だより ■■■ 教員からのご挨拶 ■■■

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 田畑 雅英

本学は今年創立125周年を迎えましたが、その記念事業の一つとして茜館・フランス庭園周辺の区画を再整備し、現在の茜館は解体されることになりました。7月12日にはお別れの意味をこめた茜館見学会が一般公開で開催され、千人を超える方々が来館されました。その盛況を見て、茜館が持っていた象徴としての力をあらためて感じた次第です。

言うまでもなく、茜館は旧陸軍通信学校の将校集会所であった建物で、相模女子大学移設後は第一本部棟として使用され、2008年に茜館と改称された後も、各種会議・講座などに利用されてきました。いわば相模女子大学の歴史の生き証人のような建物だったわけですが、残念ながら老朽化が著しいうえ、建設当初の図面も現存しないことから復元保存のめども立たず、今回の決定に至りました。

解体後には地域と大学の交流の拠点となる新たな建物を中心とした開放的なエリアが整備される予定です。茜館がなくなることは寂しくはありますが、かつての茜館が大学の一つのシンボルであったように、その区画の再整備後の姿は、地域とともに発展する相模女子大学の新しい象徴となると思います。未来に向かって新たな歴史を創っていくよう努力して参りますので、いっそうのご支援ご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。



日本語日本文学科 学科長 永谷 直子

日本語日本文学科では、大学での4年間がその後の道におけるしっかりとした歩みにつながることを目指し、「ゆっくり学ぶ、しっかり生きる」をテーマとしてまいりました。

2025年度からは、このテーマを体系化、具現化した新カリキュラムが始まりました。新カリキュラムは、学びの基礎となる科目群(コア科目)と、10の専門分野(日本古典文学、日本近現代文学、中国古典文学、日本語学、日本語教育学、現代文化、伝統文化、書道、図書館情報学・出版編集学、教職)から構成されています。

この学びの中で、学生一人一人が自身の興味のありかに出会い、「日文(ニチブン)」の深さと広さを体感することができるよう、教員一同取り組んでまいります。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



英語文化コミュニケーション学科 学科長 渡辺 幸倫

学生の関心がますます多様化する中、令和7年度の夏にはセブでの英語研修、オーストラリアやマレーシアなどでの海外インターンシップに加えて、延世大学での韓国語研修も新たに実施しました。また生成AIを活用した授業も積極的に行っており、留学先や将来の職場などの未知の環境に備え、自らの思いを言語化する力も養っています。こうした教育内容を反映し、令和8年度入学生からは学科名が国際コミュニケーション学科へと変わります。実際の教育はすでにその方向に進んでおりますが、在学生の皆様は卒業するまで伝統ある英文科のままでですので、ご安心いただければと思います。学生の「知りたい」「伝えたい」という意欲に応える学びを今後も大切にしていきます。



子ども教育学科 学科長 宗野 文俊

後援会会員の皆さまにおかれましては、平素よりご協力、ご支援を賜り、誠に感謝申し上げます。

近年は、教育や保育の現場でもICT化が進展し、従来までとは異なる保育や教育の技能習得が不可欠となっており、そういった社会的ニーズの変化に対応することは学科としても重要な課題としてとらえております。その一方で、子どもに真摯に向き合う基本的な姿勢はこれまでと変わらずにとっても大切な観点であり、子どもの視点から考えて行動ができる保育者・教育者を育成していきたいと存じます。

子どもと関わる仕事のおもしろさとやりがいを大切に、学生とともに学科教員一同取り組んでいく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



メディア情報学科 学科長 久保 康彦

昨年度は新カリキュラムでの最初の卒業生を出すことができました。また、教職課程高一種(情報)2名、学芸員14名の資格取得者を出すこともできました。学生達は目標に向けて確実に歩みを続けています。

今後もメディアをめぐる環境は激変していくと予想されます。文・理・芸の融合を軸に常に社会から求められるニーズに向き合いながら、今後はデータサイエンスやメタバースなども積極的に取り入れながら、自己管理能力と課題解決力を持つ人材を育成してまいりたいと思っております。



生活デザイン学科 学科長 桑原 茂

今年度は48名の新入生を迎え、8年連続で定員を超える入学となりました。毎夜遅くまで制作に取り組む学生も多く、コロナ禍以前の活気ある雰囲気に着実に回復しつつあります。授業においても、学外との連携を伴う実践的な課題が復活し、学生たちは多様な現場での学びに取り組んでいます。昨年度は、相模原市からの依頼により「コリドー街・プレイスメイキング事業」に参加し、自ら制作したストリートファニチャーを現地に設置しました。また、地域企業との連携も広がり、スーパー三和からは「エコバッグデザイン」や「惣菜レシビ」の提案を、神奈中観光には「エンブレムデザイン」を提供。さらに、芝川製作所からの依頼で「光触媒不織布を活用した空気清浄機」のデザイン提案にも挑みました。こうした実践的なプロジェクトを通じて、学生たちは社会とのつながりを体感し、主体性や課題解決力を養っています。本年度も様々な連携事業がすでに始動しており、学びの幅はますます広がっています。



社会マネジメント学科 学科長 井坂 聡

今、何かと女子大に対する風当たりの強さを感じますが、ジェンダー・ギャップ指数が低い日本では、女子学生がじっくりのびのびと自らの人生設計と向き合う主体的な学びの場こそ不可欠であると考えます。

社会マネジメント学科の卒業生の就職先は、公務員からエンタメまで幅広いのが大きな特徴です。これは、ライフステージの様々な変化の中でも、自ら望む道を進むことが出来る自立した女性を社会に送り出すという学科の目標が実を結んでいる証と自負しております。社会マネジメント学科の学生の活躍に今後ともご注目いただければ幸いです。



人間心理学科 学科長 芝田 征司

人間心理学科では、心理学を中心に、社会福祉や人類学、哲学・倫理学といった多様な分野の視点から、人の心を深く学び、理解することを目指しています。2024年度からスタートした新カリキュラムも2年目を迎え、学生たちは幅広い知識と柔軟な思考力を養いながら、それぞれの関心や将来の目標に合わせて主体的に学びを深めています。また、3年生・4年生も、資格取得に向けた勉強や実習、ゼミ活動、そして卒業研究などに熱心に取り組んでおり、日々の努力を通じて着実に成長を遂げています。今後も、学生一人ひとりが自分らしく学び、社会で活躍できる力を身につけられるよう、教職員一同、全力でサポートしてまいります。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



健康栄養学科 学科長 鶴崎 美徳

後援会会員の皆様には、平素よりご支援いただき、誠にありがとうございます。

健康栄養学科では、今年度より新カリキュラムがスタートしました。これまでと同様、栄養士資格の取得に必要な必修科目を履修し、その後に「スポーツ健康科学」「生活科学」「食ビジネス」の3つの学問領域から、自身のキャリアプランに合わせて科目を選択することができます。また、今年度より新たに中高教諭免許状(保健体育科)の取得が可能となり、栄養士に加えて複数の資格取得が可能となりました。卒業後には、独自の専門性を持った栄養のスペシャリストとして、多様なフィールドでの活躍が期待できます。

後援会会員の皆様には、今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



管理栄養学科 学科長 落合 裕隆

後援会の皆様には、平素よりご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度、管理栄養学科では、新たに2名の先生(黒川優子先生、萬年遼先生)をお迎えすることとなりました。2名の先生方については、新任教員紹介をご覧いただければ幸いです。

令和6年度において、本学科の卒業生の就職先は、病院・給食会社・高齢者福祉施設・公務員・歯科医院・ドラッグストア等、多岐にわたり、就職率は100%でした。

本学科の学生が、卒業後、食を通じて様々な分野で活躍できるように、これからも学科教員一同、取り組んでいく所存です。



食物栄養学科 学科長 大村 正史

食物栄養学科にとっては、2025年度が最後の学生募集となりましたが、在籍する全学生に対しては、今まで以上の学生支援や教育内容の充実を図ってまいります。そして、栄養士資格の取得、食品衛生監視員、食品衛生管理者、社会福祉主事の任用資格の取得、および栄養士実力認定試験の良好な結果を目指し、社会に貢献できる栄養士の育成を行うことを目標といたします。また、進路に関する支援に関しましても、学生の相談には積極的に対応し、就職率、進学者数の更なる向上を目指します。本年度を含めてあと2年ですが、後援会の皆様には今後ともご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



大学院栄養科学研究科 研究科長 黒岡 尚徳

栄養科学研究科では、栄養科学部の教員20名が各分野における最先端の授業を担当しています。今年度は管理栄養学科から博士前期課程に1名の大学院生が入学し、昨年度入学した社会人大学院生2名とともに、日々研究活動を行っています。今後も本研究科の特色である① 社会人が学びやすい(夜間や土曜授業を実施、長期履修制度がある)② 入試成績優秀者を対象とする特別奨学金制度がある③ 栄養教諭専修免許状を取得できる、といった点を積極的にアピールし、入学者を増やすように努めてまいりますので、引き続きご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



大学院社会起業研究科 研究科長 金森 剛

専門職大学院「社会起業研究科」は、2年間でMBA-SE(社会起業修士)の学位をとる男女共学の修士課程です。社会的課題をビジネスで解決する「ソーシャル・アントレプレナー」を養成しています。今年は6期生20人が入学しました。院生は20代から60代までいます。企業や自治体の中で事業開発を行う方もいます。学部生の保証人の方が入学した例もあります。授業は平日夜間(オンライン)と土曜日(オンライン+対面)、学費は年間63万円です(厚労省給付金もあり)。
<https://www.gsse-sagami.jp/>



新任教員紹介

学芸学部英語文化コミュニケーション学科 教授 羽田 利久 担当科目・分野:観光学 ほか

横浜市出身で、旅行会社で26年間の勤務経験があります。多くのものがオンライン化した現代において、自ら移動して体験をする観光は、とても価値のある行為だと考えています。お客様はどうしてその旅や行き先を選ぶのか、何に魅力を感じ、満足感を覚えるのか。講義を通じて得た知識が、結果的に自分を振り返ることになり、それが学生の成長に繋がれば嬉しいです。よろしくお願いいたします。



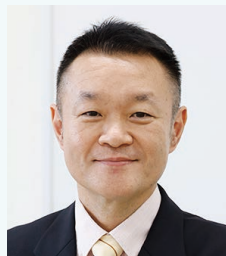
学芸学部英語文化コミュニケーション学科 特任教授 依田 真美 担当科目・分野:観光学 ほか

3月末に相模女子大学を一旦退職し、4月より特任教授として、引き続き、大学院社会起業研究科と学芸学部英語文化コミュニケーション学科で教鞭を取らせていただきます。学部では、「観光学特別演習」「観光ビジネス論」など地域と観光をテーマとした授業やゼミを担当するほか、大学院では「ソーシャル・イノベーション論」「組織開発演習」「市民都市論」「地域活性化論」やゼミを担当します。改めて、どうぞよろしくお願いいたします。



人間社会学部社会マネジメント学科 准教授 横地 厚 担当科目・分野:社会福祉学(生活保護) ほか

4月より社会マネジメント学科に着任いたしました横地と申します。「社会福祉の原理と政策」や「社会保障法」、「社会福祉士実習」などを担当いたします。これまで大学では社会福祉領域の教育に従事し、行政や社会福祉協議会では社会福祉士として実務にあたっていました。学生の皆さんが社会福祉に関心を抱ける授業を心掛け、ボランティア活動にも取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



人間社会学部人間心理学科 教授 橋本 和幸 担当科目・分野:臨床心理学及びその関連領域 ほか

公認心理師や臨床心理士として、スクールカウンセラー、教育相談所相談員、大学や専門学校の学生相談員という教育領域の心理職として活動してきました。近年は大学で、高齢者の社会活動なども研究しています。こうした経験を人間心理学科の学生指導や子育て支援センターでの活動に生かすことができれば幸いです。なお、神奈川県在住の友人・知人たちは、本学に着任したことを「神奈川によろこそ」と大変喜んでくれております。



人間社会学部人間心理学科 助教 遠藤 翔馬 担当科目・分野:社会福祉学 ほか

福祉現場から大学院に入り直して6年、ご縁あって改めて「新卒」で着任いたしました。てんかんを題材に慢性疾患や見えない障害のある人の生き方についてフィールドワークやインタビューをもとに研究しています。制約のある条件の中で人々が工夫を重ねて日々を生きていく様子をよりリアルに描き出すことを目指しています。学ぶこと、人々の生の現場に出向くことの面白さを学生と共有していきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。



栄養科学部健康栄養学科 特任教授 木村 昌彦 担当科目・分野:保健体育科教育 ほか

このたび健康学科に着任いたしました木村昌彦と申します。「武道」や「保健体育科教育法(保健体育科教育法(中)Ⅰ、Ⅱ、保健体育科教育法(中・高)Ⅰ、Ⅱ)」など、保健体育教員を目指す学生の授業を担当いたします。現代の体育教師には、運動指導に加えて栄養やメンタルヘルスなど健康全般に関する幅広い知識が求められます。ウェルビーイングを実現できる教員の育成に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



栄養科学部健康栄養学科 助教 福永 祥子 担当科目・分野:調理学関連 ほか

4月より健康栄養学科に着任しました。昨年度まで管理栄養士養成課程の大学で助手をしておりました。私は神奈川県横須賀市出身で本学の管理栄養学科(当時は食物学科管理栄養士専攻)の卒業生です。母校に勤めることができ、とても嬉しいです。研究では、食品の調理特性や機能性に関する内容に取り組んできました。これまでの経験を活かして、教育と研究に邁進していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



栄養科学部管理栄養学科 准教授 黒川 優子 担当科目・分野:食品衛生学 ほか

4月に管理栄養学科に着任いたしました。主な担当科目は冒頭に記しましたとおりです。これまでに勤務していました教育・研究機関において、食品衛生や環境科学とくに水系を中心に微生物を含めた生物への合成化学物質の影響に関する研究に取り組んでまいりました。食物の安全性や食物をとりまく環境に着目し、講義・実習を通して、知ることの喜び、解き明かしていく過程の楽しさ・厳しさを学生のみなさんに伝え、自ら問題を解決できる人材、他人への思いやりを大切にする人材を育成したいと考えております。また、「お魚食育」「環境教育」を通して地域連携活動にも学生のみなさんと一緒に取り組みたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



栄養科学部管理栄養学科 助教 萬年 遼 担当科目・分野：給食経営管理及び応用栄養学 ほか

4月に管理栄養学科に着任いたしました。学科では主に給食経営管理実習、栄養ケアマネジメント実習を担当しております。これまでは病院や老人保健施設で管理栄養士として経験を積んだ後、管理栄養士養成校で教育に携わってまいりました。歴史ある本学にて、これまでの経験を活かすとともに、諸先生方や職員の皆様から多くを学ばせていただきながら、社会で活躍できる管理栄養士の育成に尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



短期大学部食物栄養学科 特任教授 山田 とし子 担当科目・分野：食品衛生学 ほか

これまで栄養科学部健康栄養学科において食品衛生学、公衆衛生学等を担当させていただき3月末で定年を迎え、4月から食物栄養学科所属の特任として引き続き、食品衛生学、食環境論など関連科目を担当させていただいております。食の安全に関しては不確かなものも含め様々な情報があふれていますので、正しく理解することで食の安心につなげることができるよう学生さん達に伝えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



短期大学部食物栄養学科 講師 今井 愛 担当科目・分野：応用栄養学 ほか

4月に食物栄養学科に着任いたしました。主に応用栄養学、臨床栄養学実習を担当しております。大学教員になる前は、長年管理栄養士として、企業連携や保育園など地域における食育、看護ステーションと連携した介護予防事業等幅広く栄養支援を行ってまいりました。現在は、高齢者の低栄養予防やジュニアスポーツ栄養の研究に携わっております。自身の経験を活かしながら、自然豊かな本学で、学生の皆さんと共に栄養支援の未来に向かって進めることを嬉しく思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



相生祭イベント実施について

今年度の相生祭では、「後援会紹介コーナー」と公益財団法人かながわ健康財団との共催で、「みんなでスマイル！サンリオキャラと学ぶがん予防&健康チェック」を実施します。

実施日(予定) 11月2日(日)、3日(月・祝) **実施場所** 7号館1階ラウンジ
10:30～15:00

開催内容 後援会紹介コーナー

後援会の活動に関する展示、『オンライン報告会(教育編)～輝くサガジョ生に会いたい!!～』動画上映等、卒業記念品(在庫)の販売

みんなでスマイル！サンリオキャラと学ぶがん予防&健康チェック

キャラクターと学ぶ！がんクイズポスター展示、健康測定コーナー、寄付金付きグッズ販売、相模原市におけるがん対策展示

大学近況報告

学修・生活支援課の取り組みについて

後援会会員の皆様には日頃よりご支援を賜り感謝申し上げます。

学修・生活支援課ではクラブ、委員会、大学祭等の正課外活動の活性化を目指しており、昨年度に引き続き、入学前のスクーリングや新入生歓迎会等においてクラブ活動紹介の機会を増やし、新入部員獲得体制を強化いたしました。後援会の皆様より活動に必要な備品の購入等のご支援を頂きましたこともクラブの活気に繋がっております。

また、2025年3月にラーニングコモンズを7号館に移設いたしました。自習・グループワーク・リラックスの3エリアを整備したことにより、学生の多様な学修スタイルに対応した環境の実現に繋がりました。さらに、補完教育の一環として

開講しておりますリメディアル講座(化学の基礎・国語の基礎)では、昨年度過去最大の申込者数となりました。環境整備や各種講座の実施にあたりまして後援会の皆様のご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

今後も学修・生活支援課をご支援賜りますようお願い申し上げます。



7号館ラーニングコモンズの様子

大学事務部学修・生活支援課長 小林 友美

附属図書館における学生への支援について

日頃より後援会会員の皆様よりご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

附属図書館では、後援会会員の皆様からのご支援のもと、電子書籍を含む図書の購入、データベースや電子ジャーナル、電子書籍といった電子コンテンツに接続するためのシステムの維持を行いました。

以前にも増して電子書籍の種類が増えており、学生の就職活動やキャリアアップに手軽に活用していただけるよう、公務員試験や資格取得に関する電子書籍を充実させています。電子書籍は、Sagami Styleにログインしていただければ、スマートフォンからでも閲覧できますので、ぜひ学内外で活用してもらえたらと思います。

また、来年4月には、本学に国際コミュニケーション学科

と地域クリエーション学科が新たに設置されます。国内外様々な地域に関する旅行の書籍を多く購入させていただきましたので、1冊の本をきっかけに、知見を拡げていただけたらと思います。

今後も様々な学生支援に努めて参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



後援会のご支援で国内外の旅行本を多く揃えさせていただきました

大学事務部学術研究支援課長 黒井 由美

～夢をかなえるセンター連携教育推進課×就職支援課の横断的な支援策「クロスサポート」を新設しました～

後援会会員の皆様には日頃より学生の地域活動や国際教育へのご支援を賜り感謝申し上げます。本学は雑誌『日経グローバル』の調査「大学の地域貢献度ランキング」において、9期連続で全国女子大学No. 1の評価をいただいております(2011～2023年度。2016年度より隔年調査)。この評価を支える取組みの一つとして、連携教育推進課が実施する授業以外に学生が主体的に行う地域活動を『Sagamiチャレンジプログラム』と呼びます。2025年度、この活動に連携教育推進課や就職支援課の職員が同行し「就職に役立つ自己紹介」「地域活動の経験を進学や就職活動に活用する方法」など、地域活動の場で実践的なスキルを指導する「クロスサポート」支援を新設いたしました。夢をかなえるセンターが掲

げる「キャリア形成支援ポリシー」適う本学ならではの横断的な支援により、これからも学生のキャリア形成を支援してまいります。

『Sagamiチャレンジプログラム』の活動は大学HPで公開しております、是非ご覧ください。



夢をかなえるセンター連携教育推進課長 会田 恵子



就職状況報告

後援会会員の皆様には日頃より就職支援に多大なるご支援を賜り感謝申し上げます。
本学学生の就職状況および就職支援課の取り組みにつきましてご報告させていただきます。

〈2025年度卒業予定者の就職活動状況〉

株式会社リクルートの調査によると、2025年度卒業予定の大学生の就職内定率は6月1日時点で81.6%となり、昨年度比－0.8ポイントとなっています。採用活動は一層早期化し、夏から秋のインターンシップをきっかけに選考へ進む学生が増えています。また近年は、多くの企業にエントリーするよりも、志望先を早い段階で限定し、「できるだけ早く就職活動を終えたい」という意識が強まっており、エントリー数が少ない傾向も見られます。一方で、早期に内定を得ても「本当にこの企業でよいのか」と迷い、活動を継続する学生も多く、結果として長期化するケースも少なくありません。

内定率や周囲の動きに不安を覚える方もいらっしゃるかと思いますが、進路選択は人生を左右する大切な決断です。短期間で決めることだけが正解ではありません。企業との相性をしっかり見極め、納得のいく選択をするためには、自己分析や企業研究、筆記試験対策を丁寧に行うことが重要です。

私たち就職支援課では、一人ひとりに寄り添い、安心して活動できるよう、今後も多様な支援を行ってまいります。

〈2026年度卒業予定者の就職活動状況〉

株式会社リクルートによると、就職活動を始める時期として最も多いのは、卒業前年度の6月以前とされています。本学でも、大学3年生を対象に4月から、短大1年生を対象に7月から就職準備講座を実施し、早期からの意識づけを行っています。今年度もハイフレックス形式を採用し、対面・オンラインどちらでも参加しやすい体制を整え、多くの学生が受講しています。

講座では、オープンカンパニーやインターンシップに参加し、実際の職場や業界を体験する重要性を伝えています。意欲的な学生の中には、複数回プログラムに参加し、企業や仕事に対する理解を深めている人もいます。こうした体験を踏まえ、進路を考える上で欠かせないのが自己分析です。自分の強みや価値観を言語化し、どのような環境で力を発揮できるかを知ることが、志望先を選ぶ手がかりになります。

就職活動は不安や迷いが生じやすいものです。ご息女が悩んでいる様子があれば、ぜひ経験を踏まえた助言や励ましをかけてください。あわせて、どうぞ就職支援課への相談もお勧めください。就職支援課では、一人ひとりに寄り添い、安心して活動を進められるよう丁寧に支援を続けてまいります。

2024年度進路決定状況

就職支援課（夢をかなえるセンター1階） 電話／042-742-1734

進路決定者数

	日文	英文	教育	情報	デザイン	社会	心理	健康	管理	学部計	栄養	短大計
卒業生(A)	92	70	102	108	65	116	105	84	90	832	58	58
非就職者												
未登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学院	0	1	0	0	0	0	2	0	1	4	0	0
大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
編入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
専門学校・各種学校	0	0	0	2	2	0	1	0	0	5	1	1
研究生等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学(進路先確定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
留学(進路先未確定)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
家事従事	7	5	5	14	11	5	5	1	2	55	1	1
未報告	6	1	1	1	0	4	2	1	1	17	0	0
その他	1	6	0	0	0	3	3	1	1	15	0	0
計	14	13	6	17	13	13	13	3	5	97	11	11
就職指者												
未決定者	3	0	0	2	1	1	3	0	0	10	0	0
決定者(B)	75	57	96	89	51	102	89	81	85	725	47	47
計(C)	78	57	96	91	52	103	92	81	85	735	47	47
希望率(C/A)	84.8%	81.4%	94.1%	84.3%	80%	88.8%	87.6%	96.4%	94.4%	88.3%	81%	81%
決定率(B/C)	96.2%	100%	100%	97.8%	98.1%	99%	96.7%	100%	100%	98.6%	100%	100%

決定者の職種別内訳

	日文	英文	教育	情報	デザイン	社会	心理	健康	管理	学部計	栄養	短大計
総合職	21	12	2	26	17	32	13	7	14	144	3	3
事務職	29	8	4	20	5	22	19	9	4	120	2	2
営業職	5	11	1	5	2	8	4	1	0	37	0	0
販売職	7	4	1	8	8	7	5	4	1	45	2	2
栄養士	0	0	0	0	0	0	0	41	14	55	36	36
管理栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42	0	0
食品技術者	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0
食品衛生監視員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
調理員	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1
学校栄養職員	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
保育士	0	0	52	0	0	0	0	0	0	52	0	0
保育教諭	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0
介護職・生活支援員	4	2	0	0	0	2	8	1	0	17	1	1
児童指導員	1	0	3	0	0	1	16	1	0	22	0	0
社会福祉士	0	0	0	0	0	5	1	0	0	6	0	0
看護師	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
教諭(幼稚園)	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0	0
教諭(小学校)	1	0	12	0	0	0	0	0	0	13	0	0
教諭(中学)	1	1	0	0	0	0	0	3	0	5	0	0
教諭(高校)	3	0	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0
教諭(特別支援学校)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
教諭(その他学習塾など)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
研究助手	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
設計職	0	0	0	0	3	2	0	0	0	5	0	0
製造職	0	0	0	0	2	0	1	3	0	6	0	0
サービス職	0	11	2	1	2	7	10	1	1	35	1	1
CA	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
インストラクター	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0
エステティシャン	0	2	1	0	1	2	1	1	0	8	0	0
警察・自衛隊	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
デザイナー	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0
SE	3	1	0	25	2	7	2	2	2	44	0	0
プログラマー	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0
webデザイナー	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0
映像撮影者・AD・俳優	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3	0	0
編集・翻訳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他の専門職	0	0	0	0	5	0	1	0	0	6	0	0
建設・採掘職	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	0	2	1	0	0	5	6	0	0	14	1	1
合計	75	57	96	89	51	102	89	81	85	725	47	47

2025年度「オンライン報告会(就職編) ~昔とは違います!今どきの就職活動~」開催のお知らせ

今年度もオンライン(動画配信)にて開催します。

- 配信内容
(予定)
- (1) 学長メッセージ

(2) 内定者獲得学生へのインタビュー(各学科1名)

(3) 編入学決定者へのインタビュー(1名)

(4) 外部講師の講演

(5) 就職支援課からの報告(就職状況・就職支援課の取り組み)等

配信時期 2025年11月下旬～2026年11月予定

開催通知及び動画の閲覧方法は、保証人宛に郵送いたしますご案内をご確認ください。

